

# 法遍寺 から大切な 皆様へ

2023年1月1日

日蓮正宗 年間方針

折伏躍動の年

法遍寺・天晴寺支部活動方針

僧俗一致・異体同心の  
団結

年間実践テーマ

① 勤行・唱題の徹底で活動  
の充実

自分自身が日々納得  
のできる勤行・唱題を

② 破邪顕正の折伏で誓願  
達成

御聖意を拝し、身軽法重  
死身弘法の決意に立つ

③ 寺院参詣と登山推進で  
人材育成

『金沢の抜け参り』のお  
姿を忘れず寺院参詣・  
御登山の推進を強化

〒488-0881

愛知県尾張旭市城山町三ツ池6075-1

(電話番号：0561-54-9226)

相談無料 <https://hohenji.net/>



2022年12月11日 御報恩御講のようす

慧光山 法遍寺(えこうざん ほうへんじ)について 住職 近藤道正

法遍寺は、静岡県富士宮市にある「多宝富士大日蓮華山大石寺」を総本山とする日蓮正宗の寺院です。日蓮大聖人様の正しき信仰を人々に弘め、ここ愛知地域の全ての人々が真の幸せをつかむ為に、総本山第67世日顕上人が開基となって、昭和57年6月18日法遍院として設立され、平成20年12月23日には改築され、法遍寺となりました。日蓮大聖人様の出世の本懐である三大秘法の大御本尊に帰依(きえ)し、破邪顕正の布教活動をさせていただいております。

① 講中のみなさまへ「唯一絶対の御本尊を信じきろう」

世の因果応報の姿に同じく、我々の成仏は信ずる本尊により決定する。正しき本尊は、これを信仰受持するすべての人々を差別なく成仏と幸福に導く。「本尊とは勝れたるを用ふべし」(御書1275)とは「本尊問答抄」のお言葉である。この短い御文に、御本仏大聖人の慈悲の全てが納まる。大聖人は、「正直な心で題目を唱える人は、不幸の根源である悪心(煩惱)が、そのまま仏のような清浄な生命(法身)に転じ、悪い行為(業)は、正しい判断力と智慧(般若)に転ずる。また苦しみや悩み(苦)は、希望に満ちた自在の境界(解脱)に転ずる」(御書694趣意)と唱題の功德を仰せである。我々が御本尊に余事なく南無妙法蓮華経と唱えるとき、小児が乳を呑みその身を養うように、その義を知らずとも自然に仏界の命は開かれる。感謝の心で信仰に励もう。

② 創価学会に籍を置くみなさまへ(創価学会破門の経緯を知らない方へ その29)

平成2年12月上旬、11月16日第35回本部幹部会における名誉会長スピーチの録音テープが総本山に複数よせられた。その内容は、新聞掲載とはかけ離れたもので、「猥下というものは、信徒の幸福を考えなきゃあいけない。権力じゃありません」という猥下を軽視・蔑視する発言や、宗門や僧侶への蔑視・批判の数々であった。宗門は、これが総講頭という全信徒を代表する責任重大な立場による発言であり、衛生中継によって同時に数十万人の会員を対象として行なわれた以上、その与える影響は甚大であると受け止めた。そこで7月度連絡会議の学会側の一方的な状況を踏まえ、また当人不在の場では真意は通じがたいと判断し、問題の部分を文書による「お尋ね」として12月の連絡会議にて秋谷会長に提出した。(次回 秋谷氏の受け取り拒絶)

③ 正しい仏教への信仰を知らない方へ(玄関という名称の由来)

「玄関」という言葉は仏教がもとであり「玄妙な道に入る関門」の意である。その玄妙とは奥深く計り知れない、凡人の知恵では知り得ない不可思議さを表す言葉である。また関門とは通過すべき難所をいう。「玄関」とはつまり、凡人が仏の智慧を得る関所をいうのである。仏教が説く玄義の最上は法華経である。法華経は、真理を悟り究めた久遠の仏の智慧身と、その悟りの不思議の一法が妙法蓮華経であることを説く。これは仏の身にそなわる法理であり、宇宙の不変原理である。仏は衆生に妙法の大良薬を授けようとするが、煩惱を中心とする人の心は、この難解の法を簡単には理解できない。しかし妙法の御本尊に自己の信念を向けるとき、玄妙の仏果が必ず生まれるのである。人生を開花させる真実の仏法がここ日蓮正宗にある。